

具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

		法人としての経験	事業運営責任者の経験	事業実施者の経験
経験年数等	①氏名			
	② 経験年数	10 年	9 年	5 年
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体的な経験	③ 障害種別の経験		☒ 身体障害 ☒ 知的障害 ☒ 精神障害	☒ 身体障害 ☒ 知的障害 ☒ 精神障害
	① 経営陣の理解促進	経営陣の集まりや個別企業に対して、障害者雇用推進の考え方や推進の意義についての説明 →10社	全国の企業、官公庁、自治体等での障害者雇用啓発研修を50回以上実施。	経営陣と打合せをしながら、障害者雇用の啓発を実施
	② 障害者雇用推進体制の構築	障害者雇用推進体制構築のためのアドバイス実施 →20社	障害者雇用推進プロジェクトの主担当として運営	障害者雇用推進プロジェクトの運営サポート
	③ 社内での障害者雇用の理解促進	個別企業の幹部全員向けの受入研修や集合型の受入研修実施 →20回	障害者受入研修を実施	配属先部署への障害者受入研修・就職者の事例や接し方の入社前相談会実施
	④ 当該事業所内における職務の創出・選定	職域開拓のフォーマットを元に、優先順位を決め、実施に向けた調整を進めた →10社	職域開拓のコンサルテーションや研修を実施	人員計画・業績・企業戦略に基づいた新規部署開拓提案&他社事例等推進に向けた情報提供と調整
	⑤ 採用・雇用計画の策定	抽出した職域に対して、採用する人物像等、採用・雇用方針を決定 →15社	採用計画書の作成についてのアドバイス	市場感と企業の求める人物像を照らし合わせた方針の作成
	⑥ 求人の申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備	選考フローの整理と実習のコーディネート →50社以上	適切なマッチングを行うための採用フローの整理	雇用形態や選考フローの策定、マッチングの際のポイント等の整理支援
	⑦ 社内の支援体制等の環境整備	障害者雇用を推進するための体制構築とその役割定義のためのサポート →5社	本部、受入職場の中で、課題が発生した時の役割についてのアドバイス	企業オフィスを見学し、施設・設備の現状確認と今後の受け入れに向けた検討ポイントの明確化支援
⑧ 採用後の雇用管理や職場定着等	受入環境の整備、関わり方のポイントの整理、指示の伝え方の工夫、役割分担等を整理 →50社以上	障害者、企業からの個別相談、及び課題の整理・解決を実施	相談体制やフローの確認・整理の支援	

※事業運営責任者または事業実施者を複数名登録する場合は、2名以降の経験については別紙へ記載してください。

※（表面）1で、「対象障害者の一連の雇用管理に関する援助の業務についての実績を有する法人」を選択した場合は、下記の各項目について記載してください。

【過去3年間における実績】

●援助の件数

障害者雇用の推進に課題を抱える企業9社へのコンサルティング支援を実施（令和2年度2社、令和3年度4社、令和4年度3社）。

●支援業種

製造業、公的機関、サービス・小売業、学校法人、IT業といった業種への支援を実施した。

●具体的な支援内容

- ・経営陣の理解促進から始まり、最初に会社の障害者雇用の課題を見極めて提案するところからコンサルティング支援をスタート。
- ・成果につながる採用ルートの確立や採用時の適切な見極めといった採用プロセスの改善提案、より多くの障害者が活躍できるようにするための職域開拓、社内理解促進と適切な雇用管理体制の構築までを一気通貫でコンサルティングサポート。課題が発生しても職場の中で解決できるようにするための現場力向上に向けた支援も実施する。